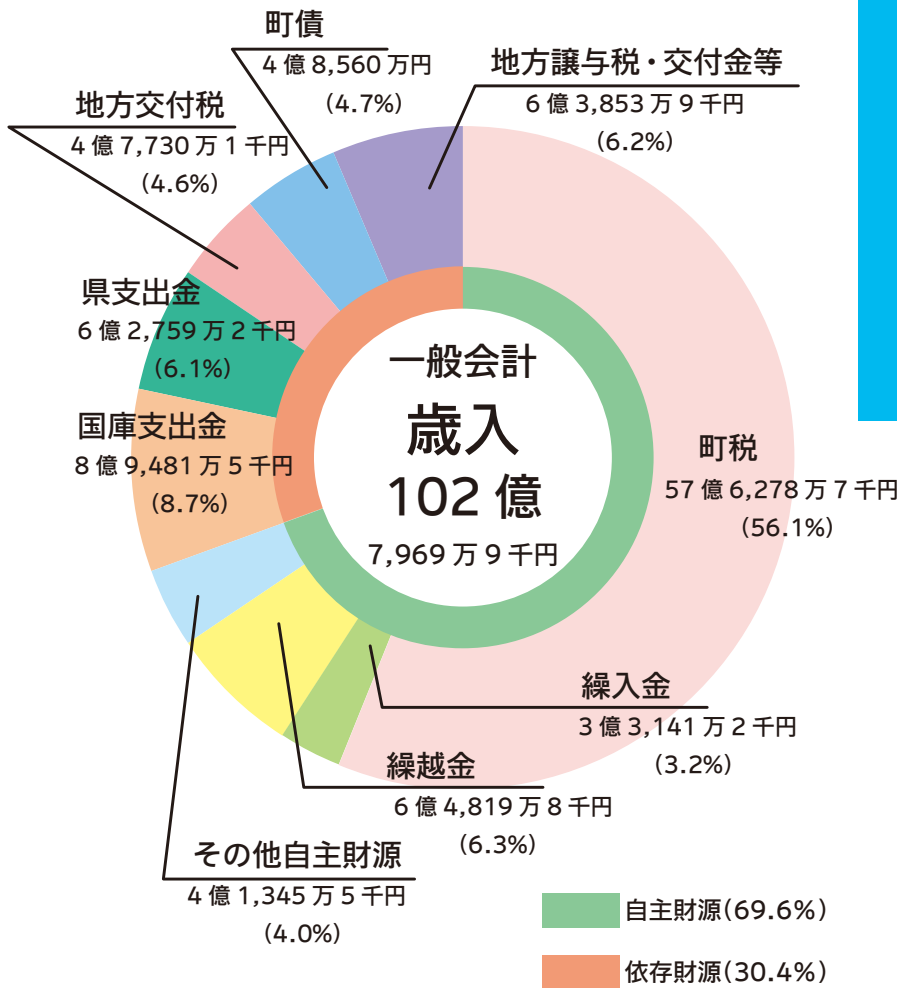


平成28年度 決算の概要

問合せ 財政課 ☎内線321・322



▶一般会計歳入の決算額は、前年度比1億3,207万2千円の増となりました。

町税は、個人町民税の課税所得が増加したことや一部法人からの高額納税などにより、1億1,695万7千円の増。国庫支出金は臨時福祉給付金の給付に対する補助金や地域活性化の推進に対する交付金が増えたことなどにより1億384万2千円の増。地方譲与税・交付金等は地方消費税交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金が減ったことで9,973万2千円の減となっています。

	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	42億1,156万1千円	40億9,908万3千円	1億1,247万8千円
後期高齢者医療	9億5,988万7千円	8億9,810万3千円	6,178万4千円
介護保険	28億1,403万4千円	26億5,296万5千円	1億6,106万9千円
下水道事業	14億7,340万円	14億2,343万7千円	4,996万3千円

特別会計

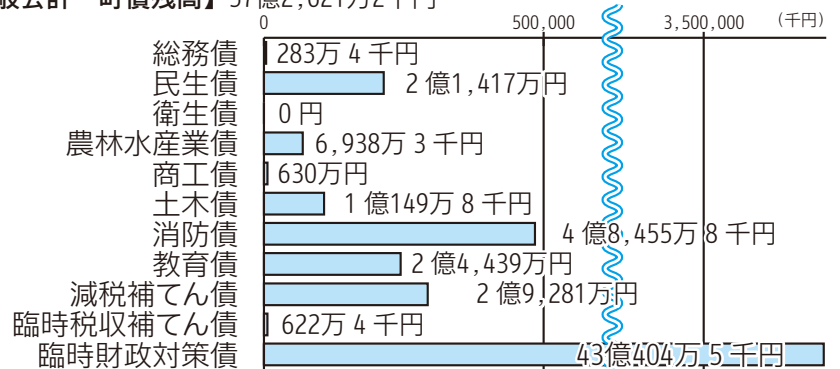
▶特別会計の歳入合計は、94億5,888万2千円、歳出合計は90億7,358万8千円で、差引額は3億8,529万4千円となりました。

町債の状況

▶町債とは、町が大きな建設事業などを行うために、国や銀行などから長期にわたって借りるお金のことです。

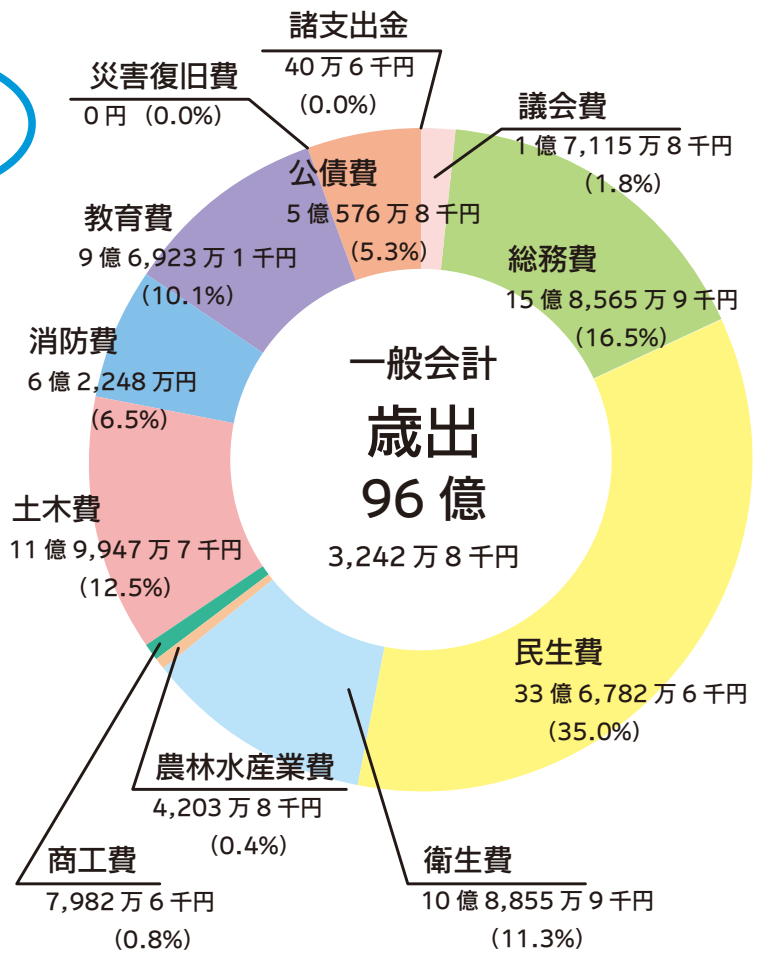
▶一般会計・下水道事業特別会計とも元金償還額の範囲内で町債を発行している状況にあり、プライマリーバランスが保たれています。

【一般会計 町債残高】57億2,621万2千円



【下水道事業特別会計 町債残高】76億4,219万9千円

少子高齢社会の進展に伴い、民生費（子育て、障害者・高齢者福祉にかかる経費）が平成23年度以降30%を超えています。平成28年度は35.0%で、前年度に比べ1.2ポイント増えました。



▶一般会計歳出の決算額は、前年度比1億3,299万9千円の増となりました。民生費は臨時福祉給付金の支給や上山口児童館外装改修工事などにより1億6,071万6千円の増、総務費は参議院議員選挙や役場庁舎1階のローカウンター化改修工事などにより5,106万9千円の増、教育費は上山口小学校のグラウンド整備や一色小学校と葉山中学校の体育館の耐震化工事などにより3,587万3千円の増となっています。

性質別に集計した歳出の状況は、町HPから見るすることができます。

健全化判断比率

▶地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、五つの指標を公表します。葉山町の平成28年度決算に基づく各指標の算定結果は、いずれも基準を下回っています。

▶健全化判断比率が一つでも基準以上となった場合は、財政健全化計画を議会の議決を経て策定、公表するとともに県知事に報告します。

健全化判断比率	葉山町	早期健全化基準	昨年度との増減
実質赤字比率 一般会計などの赤字額の割合	— 赤字になっていない	14.14%	—
連結実質赤字比率 特別会計を含めた全会計の赤字額の割合	— 赤字になっていない	19.14%	—
実質公債費比率 借入金（地方債）の返済額（公債費）の割合	△0.5%	25.0%	△0.2%
将来負担比率 一般会計などが将来負担しなくてはならない負債額の割合	— 算定されない	350.0%	—

資金不足比率	葉山町	経営健全化基準
下水道事業特別会計 下水道事業特別会計の営業収益における資金の不足額の割合	— 資金不足になっていない	20.0%

葉山町の財政の健全性は、国の基準では問題ないことがわかります。

平成28年度の町の決算の詳細は、町HP「葉山の町政」というページをご覧ください！